

## 執筆者紹介 (掲載順)

- 執筆者 ①職位 (大学院における所属)、②専門分野、  
③大学院における主な担当科目、④教育・研究業績、地域貢献などの紹介
- 栗木レタンギエップ ①客員教授 (国際アドミニストレーション研究科、国際人文学部)  
②開発経済学、農業経済学、応用計量経済学  
③国際経済学、International Economics (大学院)、Regression Analysis / 回帰分析 (大学院)  
④ (1) The Structure and Changes of Technology in Pre-war Japan's Agriculture (American Journal of Agricultural Economics, 1979). (2) Measuring the Impacts of Doi Moi on Vietnam's GDP (Asian Economic Journal, 2000). (3) ベトナム経済の発展課程 (三恵社、2005年). (4) Qua Trinh Phat Trien Kinh Te Viet Nam, Hanoi: NXB Khoa Hoc & Ky Thuat (2006)
- 孫根 志華 ①准教授 (国際人文学部) (経済学博士)  
②中国マクロ経済  
③「中国経済入門」、「国際経済学」、「国際地域研究 (東アジア)」  
④論文:『中国国有企業の改革 1992-2010』『城西国際大学紀要』第52巻第2号 2017年3月。著書: (共著)『コンテンポラリー マクロ経済学』中央経済社、2016年。(単著)『新版 基礎から学ぶ政治と経済』学文社、2015年
- 野々口ちとせ ①准教授 (人文科学研究科グローバルコミュニケーション専攻)  
②日本語教育学  
③日本語教育実践研究、グローバルコミュニケーション基礎論 a (研究法・調査法)  
④著書 (単著)『人の主体性を支える日本語教育—地域日本語教室のアクションリサーチ』ココ出版、2016年。(項目執筆)「第14章 言語学習としての対話の分析—人が言語を使って何をどのように考えるかを見ること」館岡洋子 (編)『日本語教育のための質的研究入門—学習・教師・教室をいかに描くか』2015年、ココ出版、pp.301-320。
- 瀧 章次 ①准教授 (環境社会学部)  
②西洋古典学  
③倫理学、人間学、環境倫理、生活と環境  
④2010-2012年科研費基盤研究 (C)「古代末期から9世紀のプラトン著作伝承の解明に基づく『アルキビアデス I』の校訂」(課題番号22520323 研究代表)。2013-2016年科研費基盤研究 (C)「中世後代写本「派生」本文諸異読の分析に基づくプラトン著作本文伝承の総合的研究」(課題番号26370363 研究代表)。平成25、26年度 科学研究費助成事業 第1段審査 (書面審査) 委員 (ヨーロッパ文学)。社会

福祉法人世田谷ボランティア協会評議員（任期4年 2017年6月 -）（現在に至る）。“The Origin of Interrogation Marks in the Medieval Manuscripts of Plato’s *Republic* and Its Significance in the Tradition of Plato’s Dialogues” in: *Dialogues on Plato’s Politeia (Republic): Selected Papers from the Ninth Symposium Platonicum*, edited by Noburu Notomi and Luc Brisson, Sankt Augustin, Academia Verlag, 2013: 30-39. 「プラトンをめぐる接近法」 - 「プラトン解釈の問題点」を軸として」、土橋茂樹ほか編『内在と超越の闕—加藤信朗米寿記念哲学論文集』（知泉書館、2015年、所収、pp. 25-37）。青山学院大学非常勤講師（2017年度後期）「キリスト教政治倫理」担当。

- 李 英和
- ①助教（大学院人文科学研究科・語学センター）
  - ②遠藤周作の文学とキリスト教、日韓翻訳、韓国語教育
  - ③大学院グローバルコミュニケーション専攻日韓翻訳分野
  - ④著書：『韓国語ゴージャ』白水社、2012年3月（공저）。翻訳書：유미리『평양의 여름휴가 - 내가 본 북조선』도서출판 615, 2012년（柳美里『ピョンヤンの夏休み—私が見た北朝鮮』講談社、2011年）。구리하라 사다코『히로시마라고 말할 때』지식을 만드는 지식, 2016年（栗原貞子『ヒロシマというとき』三一書房、1976年）。야기 주치키『야기 주치키 시선』지식을 만드는 지식, 2016年（八木重吉『八木重吉全集』1, 2卷収録、筑摩書房、1983年）。『생명의 존엄을 표현한다는 것』조사이대학출판회, 2016년（城西国際大学『生命の尊厳を表現するということ』城西大学出版会、2015年）。미즈타 노리코『귀로』황금알출판사, 2017년（水田宗子『帰路』思潮社、2008年）。主要論文：「遠藤周作の文学とキリスト教—インカルチュレーション預言者性」「インカルチュレーションと遠藤周作の文学—神学と文学の相互作用」
- 葉濟 保裕
- ①博士後期課程院生（城西国際大学大学院人文科学研究科比較文化専攻）
  - ②幕末日米関係史：日米和親条約と日米の捕鯨をめぐる交流を箱館開港の歴史的意義と共に考察。
  - ④修士論文「日米和親条約締結にともなう捕鯨と箱館開港の歴史的意義—1853年～1859年—」城西国際大学大学院人文科学研究科国際文化専攻、2017年3月。
- 飯倉 章
- ①教授（国際アドミニストレーション研究科、人文科学研究科）
  - ②国際関係学
  - ③国際アドミニストレーション演習、比較文化研究指導（人文科学研究科博士後期課程）
  - ④著書（単著）：『イエロー・ペリルの神話—帝国日本と「黄禍」の逆説』（彩流社、2004年）。『日露戦争諷刺画大全』上・下巻（芙蓉書房出版、2010年）。『黄禍論と日本人』[中公新書 2210]（中央公論新社、2013年）。『第一次世界大戦史』[中公新書 2368]（中央公論新社、2016年）。『1918年最強ドイツ軍はなぜ敗れたのか』[文春新書 1149]（文藝春秋、2017年）。